

令和3年度 第1回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立とりかい高等支援学校
校長名	松村 高志

開催日時	令和3年6月28日(月) ※書面開催による意見聴取日
開催場所	府立とりかい高等支援学校
出席者(委員)	A委員、B委員、C委員、D委員、E委員、F委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席、部主事(提出のあった意見の集約)
傍聴者	0名 ※書面開催のため
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ① 資料の一覧 ② 学校運営協議会 実施要項 ③ 学校運営協議会 委員名簿 ④ 学校運営協議会 事務局名簿 ⑤-1 令和2年度「学校経営計画及び学校評価」 ⑤-2 令和3年度「学校経営計画及び学校評価」 ⑥ 令和3年度 使用教科用図書選定一覧表 ⑦ 令和2年度 6期生(令和3年3月卒業)進路先一覧 ⑧ 令和3年度「学校要覧」
備考	委員からの意見聴取は文書の返送または電子メールにて行った

議題等(次第順)

- ・令和2年度 学校経営計画および学校評価
- ・令和3年度 学校経営計画
- ・令和3年度 使用教科書選定一覧表
- ・6期生(令和3年3月卒業)進路先一覧
- ・その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・令和2年度「学校経営計画及び学校評価」について

【A委員】特色ある教育活動の充実において『T.T.』力向上の課題はあるが、授業の工夫やわかりやすさにおいて目標を上回る成果があった。

専門性の向上では、ICT機器の導入・活用において高く評価できる。

【B委員】年間を通して目標を定め取り組んでくださったことが伝わってきた。コロナ禍において変更せざるを得ないこともあり、追加的な対応も多かったのではないかと察する。

【C委員】学校は大変な中、いろいろと努力されている。

【D 委員】保護者において『項目 13 学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている』が前年度比 8%ダウンとのこと。教員においては高い肯定率であること。これらは本校進路指導担当教員の熱意やフットワーク、体制などを鑑みると、保護者側において現状認識に対する学校側との乖離や、生徒への「期待」が背景にあるのではと推察される。この 8%のダウンの要因が学校側で明確に掴んでいければよいのだが。

【E 委員】コロナ禍における進路指導、就職活動は大変であったと察する。そのうえで一定の成果を上げられた先生方の取り組みに感謝する。

【F 委員】中期的目標 2（2）に『支援学校免許』とあるのは、通常の教員免許と違うのか。

・令和 3 年度「学校経営計画及び学校評価」について

【A 委員】中期的目標において教育活動の充実について、より高い目標とされている。また、ICT 活用を位置づけるなど、より社会の要請を反映させたものとなっている。

共生スクーリング紹介 DVD や教育支援クラウドの活用研究授業の全員実施など、ぜひ見てみたいと思うような内容が設定されており、楽しみにしたい。

働き方改革について気軽に話し合える職場の人間関係作りも大いに期待したい。

【B 委員】昨年度を踏まえた更なる目標設定に『とりかい高等支援学校ならばこそ』が感じられた。人権教育（生徒にも教員にも）が大切だと感じている。また、コロナ禍においての不安や日頃の学校生活に対しての悩みをひとりで抱えないためにも、相談室の活用が必要と感じた。

進路に対しての取り組みも工夫されている。

【C 委員】今後の実践に期待している。

【D 委員】中期的目標 1（2）エ『安心・安全の保障』について、今後市区町村や職域接種の進捗により、生徒のワクチン接種もそのスピードや『打つ・打たない』の選択にかなりバラつきが出てくると思われる。副反応への適切な対応はもちろんのこと、特に「打たない」生徒への非難や差別が生徒間で起きないように理解推進をお願いしたい。

【E 委員】就労という視点で見れば、3 年生は 2 年次の実習があまりできなかったと聞いている。元々の経験値がそれほど高くない彼らにとって、実習での経験は何物にも代えがたい重要なものであり、ハンディを負っていると感じている。今年度の学校生活の中で少しでも補完できるような取り組みと先生方の頑張りに期待する。

【F 委員】生徒の肯定率維持の具体的内容とはどんなことか。

支援学校教員免許の所有率の目標値を昨年の『令和 4 年度 100%』から今年度『令和 5 年度 70%』にした理由は何か。

・令和3年度使用教科用図書選定一覧表について

【A 委員】生徒の実態に即した多様な教科書であると感じた。

【D 委員】書面開催であるために実物を見ることができないので、次回は「実開催」をぜひ検討してほしい。

・令和2年度6期生（令和3年3月卒業）進路先一覧について

【A 委員】コロナの状況下にもかかわらず進路先が確保されており感心した。可能であればどのような職場であるか、卒業生の活躍している姿を見学（ビデオ等）する機会があると良い。

【B 委員】進路先の決定に際して、先生方にお礼申し上げる。

【C 委員】全員の進路が確保されたことは、学校、先生の努力によるものであり素晴らしい。

【D 委員】令和4年4月には、本校生徒と一緒に仕事ができるよう、小職も非力ながら尽力してまいるとともに、Aさんにもぜひ、来月の実習を頑張ってもらいたいと切に願っている。

・その他

【F 委員】本数の少ない京阪バス『上烏飼北』経由で登校する生徒の遅刻は多いか。
学校要覧に、生徒及び学級数の中の「重複」とあるのは、知的と何かの重複を指すのか。

次回の会議日程	
日時	令和3年11月19日（金） 15：30～
会場	本校図書室